

知識確認問題

～X.交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因とこれらへの対処方法～

実施日:令和 年 月 日

氏名: _____

【問題 1】

睡眠不足による運転は（**飲酒**）運転と同等の危険性があると言われています。また、交通事故を起こした運転者で、夜間睡眠時間が（**6**）時間未満の場合に追突事故や自損事故の頻度が高いといった研究結果も示されています。

【問題 2】

飲酒は車の運転に多大な影響を及ぼし、（**速度**）感覚が麻痺してスピードを出し過ぎる、気が大きくなって危険を危険と感じなくなり無謀な運転をする、（**視力**）が低下し視野も狭まるため信号を見落としたり計器類を見誤ったりする、（**反応**）時間が遅れたり的確なハンドルやブレーキ操作ができなくなる、意識がぼんやりしたり眠気が生じるなどの危険を招き、重大事故を引き起こす原因となります。

【問題 3】

「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」では、運転開始後 4 時間以内又は 4 時間経過直後に（**30**）分以上の休憩等を確保することにより、運転を（**中断**）しなければならないと規定されています。

【問題 4】

運転者は「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」に規定されている拘束時間・（**休息**）期間を遵守し、（**過労**）とならない運転を心がけましょう。早めの休憩をとり、休憩時には（**身体**）を動かすことが大切です。また、運転中に居眠りになりそうな強い眠気や疲れを自覚した場合には、我慢せずに安全な場所ですぐ休むようにし、疲労をその後の運行に持ち込まないようにしましょう。

【問題 5】

いかなる場合でも、覚せい剤や大麻、向精神薬、危険ドラッグ等の使用は（**禁止**）されています。覚せい剤等の薬物の使用は（**意識**）障害による重大な交通事故につながるのみならず、幻覚・妄想により凶悪な（**犯罪**）を引き起こし、本人だけでなく、周囲の人や社会にも、取り返しのつかない被害を生じさせる危険性があります。

【問題 6】

伝票や地図の確認を行う場合は、路肩等に一時停車し余裕を持って確認しましょう。車外の脇見だけでなく、運転中に（**車内**）のものを注視することも、追突事故等の原因となります。運転席のみならず、助手席側も（**整理**）整頓することが大切です。助手席側の安全窓等の（**視界**）が遮られることは、交差点での左折時の巻き込み事故等の原因となります。

出典：自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う一般的な指導及び監督の実施マニュアル（国土交通省）

truck_honpen.pdf (mlit.go.jp)を加工して作成しております。